

## 第 2 回 野田中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成26年7月17日(木) 19時30分～21時25分
場所	野田市民館
出席者	委員 (21名) 河合熙人、河辺光利、白井正臣、秋山達夫、河辺禎人、林樹一郎、鶴飼秀行、安藤佳世子、中村洋隆、河合知夜美、鈴木正次、河合克弥、河合睦子、河合隆志、鋤柄美保、仲谷文子、藤江恵美子、本多邦彦、鈴木春美、花井 隆、大竹加納江 オブザーバー(2名) 鈴木嘉弘、大林正典 事務局 (7名) 教育長、前田教育部長、中村教育総務課長、三竹教育企画室長、山本学校教育課長、大武政策推進課主査、清水教育企画室主任
欠席者	なし
傍聴者	10 名
事務局	開会
委員長	(委員長あいさつ) きょうは、教育長が出席されておりますので、あいさつをお願いします。
教育長	(教育長あいさつ)
委員長	それでは、早速協議事項に入ります。 協議事項1 保護者からの要望について、ご意見をお聞かせください。
委員	P T Aから説明をさせてもらいたいと思います。 野田中学校P T Aと野田小学校P T A合同で6月11日、6月27日、2回に分けて意見交換会及び説明会を行いました。対象は中学校1年生の保護者、小学校全学年の保護者で、対象の方に小学校、中学校から案内を配布し、欠席される方も意見が書けるようにしました。 6月11日は小学校で行い約40名出席されました。P T Aが司会者となり、司会者と1対1で、出席者全員のいろいろな意見を話していただきました。 6月27日は、野田市民館2階で行いました。6月11日にいろいろ話しましたが、今までの経緯、流れがまだうまく伝わっていないところがありましたので、過去にさかのぼって調べた資料を添付させてもらって、統合がどのような流れで今までできたかという部分を説明させてもらい、次に、意見がある方に挙手をお願いして、意見交換をしました。 本日は、保護者からの要望の多かった意見について、意見交換をしたいと思います。 こういう場にふなれなので、うまく説明できるかわからないですが、ぜひよろしくお話ししたいと思います。
委員長	配布資料をベースにして左側の大項目のうち「交流」、「クラス」、「学業」など書いてあります。表の順番に1問ずつ意見や質問を出していただいて、その確認ができたから次の質問に進むという形で進めていきたいと思っています。

	<p>それでは、「交流」からお願いします。</p>
委員	<p>私からは、「交流」に関してご質問、意見させていただきます。保護者からは、統合後、子供たちがなじめるように早く交流を行ってほしいという声を多数聞きました。統合まで、約 1 年半ありますが、その準備期間をできるだけ有益に使って、田原中学校に行くことの子供たちの不安が少なくなって、楽しみや期待が持てるように交流活動を行ってほしいという気持ちが強くあります。</p> <p>今の時点で 1 年半ありますが、交流活動についてどのようにお考えですか。もし具体的に決まっていることがあれば教えてください。それを順次、保護者の方にもお伝えしていきたいと思います。</p>
委員長	<p>事務局から、今の質問に対してご回答をお願いします。</p>
事務局	<p>生徒の交流について、本年度は、例えば夏休みに田原中学校の環境等について、保護者の方々が知る機会を設けたらどうかという構想が事務局ではあります。それは野田の P T A の方々の意見が集約できれば、本年度実施可能と思っています。</p> <p>早めの交流ということでは、具体的な計画は校長先生方にお聞きしないとわかりませんが、具体的にどのような交流が計画できるかについては、これからではないかなと思っています。</p> <p>もし先生方に交流のイメージがあればお聞きしたいなと思っていますが、どういところで、野田中学校と田原中学校の生徒が事前に交流の場が持てるとお考えですか。</p>
委員	<p>この話は、田原中学校ではまだ具体的な計画はありません。校長として考えるのは例えば体育大会、合唱コンクールなどの大きな行事の中で交流することは比較的早くできるのではないかなと。田原中学校は 1 学年約 200 人おりますので、簡単に言うと小回りができないので、計画的に詰めていく必要があります。</p> <p>それから、マラソン大会などをサンテパークで実施することも、二つの学校をまたいでやることですので調整していく必要があります。体育大会とか合唱コンクールなど、まずはお招きして田原中学校の様子を知ってもらうのがいいということなら、イメージとしては野田の子たちに田原文化会館とか田原中学校の運動場に来てもらって一緒に何か活動できたらということころは、今、お話しはできるかなと思います。</p>
事務局	<p>部活動はどうでしょうか。</p>
委員	<p>保護者の方が何をイメージして交流というのか、イメージができないものですから何とも言えないですが、子供同士がお互いに触れ合ったり、話し合ったり一緒に活動をししないと本当の交流にはならないと考えています。</p> <p>まだ具体的に何も話していませんが、思いつくものとして、例えば 1 年生のオリエンテーション合宿などと一緒に行って 2 泊 3 日をとともに夜を過ごす、そういうものは非常に効果があるのかなと、それが交流の出発点ではないのかと思います。あと、自分たちが田原中学校と一緒にすることで、今、部活動などは練習試合などで大会で交流しています。田原中学校の子供の様子を見えています。ですから、私はそれが交流だと思うし、一緒にそこで話し合えばいいことですので、先ほど言った目的と方法をし</p>

	<p>っかりしないと、時間だけ浪費してしまうので、相当慎重に考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>田原中に行って「野球を一緒にやる」とか、「バレーを一緒にやる」とか、それはできますが、その辺は慎重に行っていかなければいけないということです。</p>
委員長	<p>保護者の考えておられる具体的なイメージがわからない中での回答だったわけですが、今の回答でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>田原中学校の様子が知りたいので、「年間行事を知りたい」と挙げています。先ほどの行事などで田原中の様子が見えてくるだけでも安心できるのかなど。1年生から田原中に入る子はいいいですが、途中から入る2年、3年生。3年生の子は1年間だけなので、前もって行事などがわかれば、子供も安心だし、親も安心かなと思います。</p>
委員	<p>本日、行事予定表を持ってきましたので、参考にしてください。</p> <p>中学校ですので、テスト、修学旅行、部活動もちろんあります。コンクールのなものもありますし、似通ったものがあります。田原中では今までのものを伝統的に引き継いでいる学校です。伝統的に長く続けているのが特色と思っています。</p> <p>一つ考えたのは、ことし7月に発行したPTA新聞があります。この新聞も野田校区の方々希望されれば用意はありますが、情報提供をどこまでしたらいいかという部分もあります。</p> <p>今回、田原中の行事予定表を配らせていただきましたので、お互いに、野田中学校の情報も田原中学校に出していけたら、理解をしやすいのではないかなと思います。</p>
委員	<p>行事予定表は、今ここにいない保護者の方に見せてもいいですか。</p>
委員	<p>はい、いいです。田原中をもっと理解してもらえたらという思いです。</p>
委員長	<p>早めの交流についてはよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>具体的にどうしたらいいのかということは、私にもよくわかりませんが、この後に「学業」、「部活」などの質問があると思いますのでその中で答えていただけたらと思います。</p>
委員長	<p>今、交流の部分で、早めの交流から入ったので、次の同じ「交流」の中の、「プラスイメージで統合」について、この順番をお願いします。</p>
委員	<p>最初、準備期間を有意義に使ってもらいたいと言わせていただきました。子供の中には「運が悪い」とか、そういった考え方をしている子がおりますので、早めに交流することで、田原中に行くことが楽しみになり、前向きに考えてもらえるようにしていただきたいです。3番目に書いてある田原中の年間行事の様子を知りたいということも、先ほど言わせていただいたとおりです。</p>
委員長	<p>そうすると、プラスイメージで統合について、もう一回お答えをもらいますか。</p>
委員	<p>先ほど、田原中と交流することでプラスのイメージを持ってほしいということです。</p>
委員	<p>先ほど、夏休み中に保護者対象に田原中学校を知るとか、合唱コンクールなどと言われました。私たちも説明会をやっていて、「今後、決めていきます」とか、「この後考えます」と言うと、実際にいつになるのかが不安な方がすごく多い。具体的な時期</p>

	<p>について、即答はできないと思いますが、2 学期中とか、ある程度めどが立つものは可能であればどんどん早めに動いてもらうのがベストと思います。</p> <p>学校もいろいろ行事の調整が難しいと思いますが、できる範囲で早めに情報をもらえれば保護者の方に情報提供できるので、少しでも保護者の方の不安は一つ一つ解消していきたいので、よろしくお願いします。</p>
委員長	めどが立つものは、実施を早めをお願いしたいとのことです。
委員	田原中学校としては、施設見学は野田中学校の P T A などで候補日をあげていただければ、いつでも結構です。ただし、夏休みですと子供がいないときはどうかと私は思いますがいかがですか。
事務局	子供がいたときのほうがいいですか。
委員	私はどちらを見ていただいても結構です。
委員	一点、いいですか。出てきた要望を事務局が学校と調整して返答するならわかるが、学校に質問が向けられて、直接学校が回答するのは、筋が全然違うような気がします。
委員長	今の問題提起について、私から後ほど言おうとは思っていましたが、結局、全てを委員会で協議するのではなくて、例えば野田中学校の P T A と田原中学校の P T A 間の問題ならば、それは直接、話をさせていただいて、結果をこの場所で報告してもらうとか、あるいは部活の問題にしても、このテーブルで話をしなくても、田原中学校と野田中学校の間で統合後の部活についての話ではできるとは思いますが、どのようにお考えになりますか。
事務局	<p>例えば、この交流の問題を考えたときに、「教育委員会が考えてください」と投げかけることもできるが、今、この会で保護者の方々から早めの交流をお願いしますという意見があります。子供たちの不安を取り除くために、どのように子供たちが新しく行く中学校のイメージをつかんで、そしてどのような部活があつてという、少しずつ知識が欲しいと言われているときに、それを田原中学校と野田中学校の中で、いろいろな行事がある中で、どのようなところで一緒に参加できるのかとか、あるいは例えばオリエンテーション合宿を設定するとしたら、どのタイミングでオリエンテーション合宿をするのかとか、部活で一緒に練習することも小さなステップかもしれないが、子供たちにとっては交流の場になるのではないかとお考えになっていると思いますので、それを受けとめていただいて、学校で、本年度中に職員の方にも周知をして、職員も理解して、そして実行に移さなければならないと思います。</p> <p>そのあたりは学校同士で協議をして、交流のあり方を検討していただけるとありがたいかと、それが皆さんの願いなのではないかなと思います。学校もすぐに返答はできないと思います。職員会議で検討して、これなら有意義にできるとか、目的が達成されるというような検討を、平成 26 年度中は多分そういった検討がなされて、平成 27 年度に幾つか交流の場を設定して実施していくという、そういう流れではないかと思いますが、どうでしょうか。</p>
委員	こうしたことについては、調整が必要なこともありますので、私一人の発言でいろいろなことが動いてしまうことを危惧するので、言葉がはっきりしない部分があるの

	<p>はわかっていただきたいなと思います。</p> <p>答えられる範囲では答えていきたいと思いますが、基本的には、それぞれの子供たちの幸せを根本に願うということで、確かに親がいろいろ抱えている不安はあるが、先ほどのプラスイメージの部分を、もう少しみんなで真剣に考えていただいて、不安、不安でやっていけばこの統合は何なのかという、原点に戻るようなことになってしまうので、あした終業式ですので、私が子供たちの前で読む文章を言って、プラスイメージに変えてほしいと思います。</p> <p>「私がこの1学期、一番すばらしいと思ったのは田原中学校の欠席が少なくなったことです。入学式のときに『田原中学校は、いじめも不登校もないすばらしい学校です』と言ってしまいましたが、みんなは欠席の少ない学校にしてくれて、欠席の少ない学校は明るく楽しい学校とも言えるでしょうということで、ぜひ通知表で自分の欠席数を確認しながら、自分の1学期の頑張りや努力を確かめてほしいです」と。</p> <p>不登校もいじめもない学校だという言葉は、一番子供にも保護者にも伝わるすばらしい学校ではないかなと。600人の子供が欠席ゼロになる学校に向けて、今、一生懸命経営しているので、確かに不安はあるが、「行く先は相当にいい学校です」ということを、まずはご理解いただいて、教育長は野田中学校の子に風を吹かせてほしいと言われました。野田中学校の子たちを十分にゆったりと仲間にする余裕のある学校だなということは、私も野田中学校の子を知っていますし、田原中学校の子も知っていますので、不安をもう少し希望に変えるような大人の強い支えが必要かなと思います。</p> <p>クラス編成の配慮とありますが、余り細かい希望については私たちも答えられないこともあります。そういった事情も考えていただいて、野田の不安でもあるが、南部の子が田原中学校、童浦の子が田原中学校へ来るときも同じような不安を持って来ているという考えもあることを視野に入れて、野田の子だけではなくて、小学校から中学校に上がるときの基本的な不安はあるだろうなど。</p> <p>また、修学旅行をどうするかということで、まだ確定はしていませんが、秋に修学旅行をやるのも一つの方法かなとも考えてはいますが、修学旅行一つやるにも大きなイベントです。多方面な意見を聞く中で、要望すればそれが全てわかってもらえるということではないので、よりよい歩み寄り方を模索していただけたらと思います。</p>
委員長	<p>きょう質問されて、直接、はっきりとお答えできるものもあるかもしれないが、なかなか難しいというご発言です。また、PTAの委員からは、保護者の意見をいろいろ聞いた中で、少数意見やある程度の人数の意見、人数はいろいろだが、わからないことが不安だから知りたいという、そこがきっと原点ではないのかなと。</p> <p>質問や意見は言っていただいて、答えられないものは、今後、教育委員会や学校の中で調整するとか、そういうお答えでもやむを得ないと思いますので、答えられる範囲の中でお答えをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、PTAの委員の方も保護者の意見を代弁して言うものですから、クラス編成の配慮についてどなたからご発言をされますか。</p>

委員	クラス編成の配慮ということですが、統合するとき 2 年、3 年生に入る子が主ですが、クラス分けをするときの配慮はあるのかどうかをお伺いしたい。
事務局	南部小学校から来たときに、南部小学校の子供の数を小グループに分けて、ある程度的人数で学級編成をしているということを聞きましたが、そういう方向でやっているのですか。
委員	以前は南部の子を、例えば 6 クラスあると、3 クラスぐらいに分けていたようなことがあるようですが、本年度の様子を見たら、12 人いれば 2 人ずつ 6 クラスに分けていますので、いろいろな活動で子供たちは動いていくので、中学校に入ってしまうと野田の子とか、童浦の子とか、中部の子とはほとんど聞こえてこない。若干、大人がそういうことを思っているのかなということ、南部の子が孤立したという話は余りありませんし、どちらかということ南部の子は反骨精神で頑張っているというのが私の感想ですので、上手に後ろから押してもらえると、きっと子供も頑張れるのではないかなと。親の不安が子供の不安を増させるのではないかなという視点もお持ちいただけたらと思います。
委員長	今のお答えでよろしいでしょうか。
委員	特に、まだ今は何とも言えないということですね。
委員	そうですね。きっと 1 年生はばらばらにするが、2、3 年生については配慮があるかもしれない。実は、クラス編成について細かいことは言えませんが、人数的な配慮だけではなくて、学校はそれぞれの学級が平均的になるように運動、学習、音楽いろいろなところを見ながらやっています。何らかの配慮はしている中ですので、野田の子だけにできるかどうかは明言できません。
委員長	それでは、クラスについては以上でよろしいですか。 では、次の「学業」に移りたいと思いますので、お願いします。
委員	私からは学業のこと、部活のこと、修学旅行のことをお話させていただきたいです。 まず学業のことについて、テストを統一化し、両校総合の順位をとという保護者の希望がありました。特に 3 年生で田原中学校に移る子は受験のこともあるので、できれば同じテストを実施していただいて、田原中学校と野田中学校の両校の総合順位が前もってわかっていれば受験の参考になるとと思いますが、先生方はどのようにお考えでしょうか。
事務局	まず、私から話をさせていただきます。中間、期末、あるいは授業の中で行われているテストは、授業で学んだ内容について、子供たちがどのぐらい理解しているかをチェックするものですから、野田は野田の学習の中で、先生が必要だと思っていることをテストにしています。 また、1 年生、2 年生、3 年生の回数は違いますが、多分、同じ業者で実力をはかるテストをやっていると思いますので、例えば、ある程度進路の参考になる資料というものは提供されるのではないかなと思っています。ほかに学校でつけ足しがあればお願いしたい。
委員	いろいろなテストをやっていますが、結局、皆様にお知らせしている通知表があり

	<p>ます。例えば野田でオール 5 をとったら田原中でもオール 5 です。トップです。それで見ただけであれば、例えばオール 5 をとっていて、田原中へ行ってオール 3 になるということはありません。大きな変化はありませんので、それを見ただけであれば大体の自分の位置がわかると思います。野田で真ん中をとってれば、田原中へいけば 100 番だし、大きな力の違いはありません。いつもお知らせしている通知表で十分、大体の位置は理解できるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>今、2 人から回答がございましたが、よろしいですか。</p>
委員	<p>定期テストは、1 学期でどのぐらいの子がどのぐらい理解しているかその周知度をチェックするテストである。でも実力テストは、私たち親は教育のプロではないですが、成績以外にクラスや学年順位というもので、受験していく学校の参考になっているし、子供たちを見ていると、もちろん成績がオール 5 だったりオール 1 だったりもありますが、定期テストや実力テストでは順位が上がった、下がったと、どちらかという親も子も順位を基準に進路や高校のランクをはかっています。</p> <p>1 学期ごとの通知表の 5 段階評価もそうですが、実力テストが年に 3 回ぐらい行われると思いますので、その中で業者のテストで、統一した順位がわかれば、親も自分の子のレベルがわかりやすいのではないかと思います。どうですか。</p>
委員	<p>3 年生は統一的なテストをやるが、1、2 年生は余りやってないです。</p>
事務局	<p>はい。学年末に 1 回テストをやっています。</p>
委員	<p>野田中も田原中も、学年末に標準的なテストはやっていますが、中間、期末テストのように順位がはっきり出るものではありません。先生たちも含めて順位に一喜一憂するのではなく、他人との比較よりは自分の努力の伸びをはかるような、自分の伸びを見る評価をやっていこうと子供や先生にも言っています。「横と比較して自分は上がった」ではなくて、「自分はどこまでできた」というところで、順位で言えば今まで 40 点とれていたテストが 60 点とれるようになったとか、自分として少し努力して伸びているという自分の評価をしっかりと、そこで自分をしっかりと見ていくようにとっています。</p> <p>大人が「順位も大事だが、あなたの頑張りがどれだけテストに出たのか」というところで評価していかないと、「自分は頑張ったつもりだが順位が下がることはある」と、大人はもう少し子供の成長をしっかりと見つめるべきではと思う。そういうことも含めて子供たちの中に、部活でもそうですが、補欠は補欠だけれども、例えばゴロをとるのがうまくなったとか、シュートがたくさん入るようになったとか、何かできるようになったことをもっと見させることが大事だなと思います。</p> <p>順位で評価するよりは、自分の進路に向かうためにはどのように勉強していくのがいいか、今後は、そちらに移行されたほうが子供を伸ばす意味では賢明かと私は思います。</p>
事務局	<p>野田の方は、今まで大体このぐらいの成績であれば、どこの高校へ行けるという一つの目安で見れていたものが、統合され、スケールが全然違う中に入ったときに自分の位置が定まらず、高校の進路をどう設定していくかに問題が出るのではないかという</p>

	不安だと思います。努力をどのぐらい積み重ねて目標に向かっていくかということと、もう一つは、その子がどのぐらいの位置にあって、目標をどこに定めるかということにもなるので、それは進路の先生がきちんと一人一人と進路相談をしながら目標設定をしていくので、心配ないのではないかと考えています。
委員長	今の質問はどうでしょうか。これぐらいでよろしいですか。 それでは学業の中でもう 1 点、小学 6 年生の保護者から出ていました。
委員	教職員の配置に配慮していただくという意見がありました。
事務局	ご意見として承っておきたいと思います。 はっきり申し上げられない部分ですが、保護者の方の思いは、子供の様子を知っている方に、田原中学校でもきちんと情報を提供してほしいということだと思いますので、きちんと田原中学校に行っても伝わっていくように配慮していきたいと思っています。
委員長	それでは次に、「部活」に入りたいと思いますので、お願いします。
委員	部活について統合後の変更は可能かということですが、これは新 1 年生で入る子ではなく、2 年生、3 年生の途中で編入する子供が野田中学校でやっている部活を、そのまま継続して同じ部活動で続けていくのか。また、田原中学校だと選択肢が多くて、野田中学校になかった部活ができるチャンスが与えられるので、変更ができるかどうかを知りたいです。
委員	職員との調整が必要になるので、即答は難しいです。
委員	一つ、私が今も困っているのは、スポーツ少年団でバドミントンをやっている人たちが、「田原中でバドミントンの部活動を新しくつくってくれないか」と校長に申し出がありました。 学校の中で場所も指導者もないし、非常に混雑しているのでそれは無理ですと伝えると、「では、どうしたらできますか」と言われ、教育委員会と話をし、その折衷案が市の体育館とかトヨタの体育館を使って、校長に指導者と選手を頼んで、部活動とは言えない学校外スポーツクラブとしました。だから、部活動の時間にやっているということで認めましたが、ほかの保護者からずるいのではないかとと言われて、「あなたも教育委員会へ行って形をつくってやりましょう」ということで答えていますが、どのように聞かれていますか。
委員	私たち保護者は「田原中では今の 5 年生が行く 2 年後にはバドミントン部ができている」と聞いています。
委員	そのようになってしまうので、私は非常に困るのです。
委員	今、聞いて、実際のところは違うなと思いました。
委員	子供たちにはいろいろな可能性は与えたいと思って対応したことが、ある意味、ちょっとあだになっている。ですので、一度ご意見は学校に持ち帰りたい。 例えば、野球部でも部員は約 60 人います。各学年 20 人ぐらいいるので、選手になれる保証もありませんし、陸上部は 80 人もいるので選手で走れるかといったら、違う種目で頑張れば何かできるかもしれない様子です。田原中の中でもビッグな部と少人数



	<p>精鋭でやっている部といろいろあるので、部活動の所属は何人いますという情報はお示ししてもいいかなと。</p> <p>選択肢がふえたのはいいことですが、野球に行きたかったのに人数が多くてボール拾いもやれないという可能性はある。ですから、保護者の要望の中の一つということは理解しました。</p>
委員長	それでは、まだ「部活」の中でお聞きになっていないところは。
委員	<p>最初の「交流」のところで部活動の交流という話も出ていましたが、部活動は1年生の子供と一緒に練習をするとか、練習試合でも交流になっていると先生がおっしゃったとおりでと思います。</p> <p>では、合同練習についてのお考えはありますか。</p>
事務局	部活動の交流について、先ほどの答えと同じように学校に持ち帰って、どんなことができるかということを一回検討して、またお示しができると思います。
委員	合同練習がいいのか、または練習試合の数をふやせばいいのか、いろいろなケースがありますので、要望があるということで、交流を検討させていただきます。
委員長	もう1点、部活の中のユニホーム関係について、どなたか質問されますか。
委員	<p>部活の中ではユニホームのことで、保護者の方が心配されておりました。</p> <p>ほかに学校の制服や体操服が野田中学校と田原中学校と違うので、統一をお願いしたいという意見がありました。</p>
委員	<p>その件に関しては、1年生から動き出しています。3年間使えるものについては田原中学校の規定に合うものを用意してよろしいということで、今、1年生は6割、7割ぐらいが田原中の体操服を着ています。制服は、おかげさまで冬服は一緒ですので、それを着ています。夏服は、田原中学校とは違いますが、1年生の中には、数は把握していませんが、半分ぐらいは田原中学校のものを着ています。</p> <p>また、部活について、新1年生についてユニホームは一切買っていないでいません。二重に買うことになるのでとめてあります。先輩のものを借りるなどして、野球部はそろえました。バレー部は、Tシャツだけは買いましたが、ユニホームは、試合のときに先輩のものを借りてやるという形で、方策をとっています。</p>
委員	<p>中学1年生の保護者ですが、先生が言われたとおり「3年間着ることができるものであれば田原中学校のものでも大丈夫」、「どちらでもいい」と入学時に説明がありました。ほとんどのお子さんは初めて買う子が多いので、夏服の制服、体操服、学校で使うものは田原中学校で全部買いそろえました。</p> <p>部活が始まり、学校生活が始まって、学校の中ではそんなに違和感はないですが、部活動で学校外の練習試合に行くと、2年生、3年生は緑色の体操服の中で、赤色の体操服の子がぼつんといると。野田中学校なのに田原中学校の服を着ているので、他校の子からは違和感があるような目で見られたり、本人たちも、自分だけが田原中学校の制服だったり体操服ということが気になる子もいまして、最終的には、両方そろえました。制服の夏服も体操服も、お下がりをもらったり買いに行ったり、今は両方どちらでも通用するようにそろえているので、多分そういう意見があって、次に入る</p>

	今の小学校 6 年生の保護者の方が、統一していただけると不安がないということから、こういう意見が出たと思います。
委員長	今のご意見といたしますか、要点はわかりましたでしょうか。
委員	はい。だからそれは移行期ではどうしようもないところですね。
委員	その赤い体操服とか、意味がちょっとわかりにくいですが。
委員	うちは娘なので、田原中学校の体操服は赤色で、野田中学校の体操服は緑色です。そうすると野田中学校の緑色の体操服の子がたくさんいる中で、1 人だけ赤色の体操服の子がいるということです。
委員	よその学校の子が言うのですか。
委員	言われたり、そういう目で見られたりするので、校外に練習試合に行くときには、野田中学校の体操服で行くようになっているらしいです。もちろん、音楽部も制服の夏服は、田原中学校を買った子も野田中学校のものを借りて行っています。
事務局	切ない感じはするが、そのように感じる生徒の気持ちはとてもわかる。 移行期の子供たちは野田を大切にしたいという思いや、対外試合でも野田のまとまりとして自分たちもそのようになりたいし、外からもそのように見てもらいたいという気持ちと、自分たちが着ている制服とがずれている、その辺の違和感を覚えているということですが、これを統一することは、全部田原中にするということはありませんよね。
委員	これは昨年のアンケートや父兄の方から、結局、両方買うことは費用負担が大変だということを学校側に言ったときに、校長先生が配慮して決断を下してくれたという経緯があります。父兄の方から費用負担が大変という意見が出て、結構その部分はシビアに言われまして、両方の選択ということでやっていただいたと。 業者との関係もあるので、早めに決断をしてもらったのが今までの経緯です。
事務局	保護者の方も、生徒を支えてもらう形で言ってもらえるとありがたいと思います。
委員長	それでは、次の「修学旅行」についてお願いします。
委員	修学旅行も、先ほど田原中学校の先生が、修学旅行も考えていらっしゃるようなことをお聞きしましたが、グループ編成の対応をお願いしたい。
委員	修学旅行が、いい形にできるように、当然、学年等でも話しますし、5 月にやるとなれば 2 年生のうちから田原中と野田中で話し合いをするし、秋にすれば来てから考えるということです。修学旅行を秋にし、3 年生の楽しみにとっておくのも一つの方法で、中学生生活を充実する意味でも一理あるのではないかとということで、学校では投げかけてはいます。市内のほとんどの学校の修学旅行は春です。いろいろ考えることはあります。少なくともこれについても何らかの配慮は子供たちのためにしたいと思います。
委員	ありがとうございます。先生方が子供のためにいろいろ考えてくださるのは、すごくありがたく思います。
委員長	次は「通学」の項目になるわけですが、時間も 1 時間以上、経過をしてまいりまして、今後の予定として第 3 回目からは主に通学の関係でいろいろ議論をしたいと考え

	ておりますので、「通学」を飛ばしてまず「情報」関係の整理をここで先にやっておきたいなと思います。
委員	<p>全体的には決まった時点で早めに情報をもらいたいということと、できることは早めにやってほしいということです。</p> <p>実際、PTAの選出方法と書いてあります。いろいろな地区からも、「PTAは合併したら何人出るのか」、「どのようになるのか」という部分です。来年は野田中最後のPTAになるわけですが、それでも9月ぐらいから動き出します。人数がかなり減ったり、2、3年後にやる人が前倒しをしたり、そういう長い目で調整している。どのような感じになるのかわかれば、特に来年は最後の年でPTAもいろいろ行事があると思うので、次年度以降の方にも情報を流して、各地区の選出方法が変わってくると思うので、早めにわかれば教えていただきたい。</p>
委員	いつだったら間に合うのですか。
委員	皆さんと同じで、僕らもこの場だけでは決められない立場なので、一度持ち帰って、次の3回目の協議会にはある程度、いつぐらいまでにとすることは決めて意見を言いたいと思います。
委員	8月25日に次のPTAの候補の人を決めますので、そのときに説明したい。来年はいいが、再来年からは南部の例を参考にしてもいいのですが、田原中のPTAの人数を説明したいです。
委員	ことし、南部の方がPTA会長なので、PTA同士で、学校としても教頭や小学校にも入ってもらって、日程を決めて、一度調整してみたらどうですか。また田原中のPTA会長にもタイミングを見て、この会にも入ってもらえるといいかなと思います。
委員長	<p>今のPTA役員の人数の問題などは、この委員会の中で必ずしもやらなくてもいい問題だと思う。両方の教員、PTA関係の方、その中で話ができれば、結果を統合準備委員会に報告していただければ、この問題はそれでいいのかなと。</p> <p>次回、この統合準備委員会の開催は、早くて8月になってしまいます。統合準備委員会を待たずにPTA同士、あるいは学校同士、そういう関係の中で協議を進めていけばどうかと思います。</p>
委員	僕らも田原中のPTAと知らないところで勝手に動くのも余りよくないと思ったので、学校側がPTAの話し合いの場を設けてよければ、一度そういう場を設けて、どういう流れかを話させてもらいまして、PTAで進めていきたいと思います。
委員	それでは、私が中学校のPTA会長に、PTAの人数等を把握して進めたいという話が出たので、会長を中心に話し合ってくださいと頼っておきます。
委員長	PTA、あるいは学校の人も入ってもらっての協議でよろしいですね。
	(異議なし)
委員長	<p>では、そのように進めていただきたいと思います。</p> <p>「情報」の中で、ほかにもいろいろな質問、意見があるかと思いますが、ほかはどうでしょうか。</p>

委員	<p>ほかは、決まったことをタイムリーに出してくれれば、保護者の方に伝わると思えます。保護者もわからないことが一番不安要素で、どうしてもマイナスイメージで考えてしまうと、子供にもそういう影響が出るので、なるべくある程度決まったものは、多分、どういう方向であれ、決まったことが気分的には多少でも楽になると思いますので、私たちも保護者代表として来ているので、いろいろ頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>資料の情報提供というものは、去年 1 年間を見据えた中で保護者の方から出てきた意見だと思う。ただ去年の統合についての話し合いの中で、1 年間を通じて情報提供の便りは校区から 2 回、それから 10 回ぐらいやった会議についても、各地区の総代を通じて常に情報を流して、25 日の定例会には情報提供はしていました。ただ、それが皆さん方のところに伝わっていないことがあったので、こういう意見が出てきたが、これは皆さん方が、そのときに関心がなかったということであって、その情報が流れなかったという、私から言うとそういうこともあると思う。</p> <p>今回、皆さん方は非常に熱心に、しっかりと情報を流していただけたと思うが、私たちから言わせると、この意見についてはじくじたるものがあるので、そこら辺はしっかりと情報を流して、もちろん今度は、この会は市が主催している会なので、市のホームページ、「統合準備委員会だより」はしっかりと出していただけたが、PTA、保護者の人たちに対する情報は、PTAの人たちがしっかりと流してもらわないと伝わらないと。1 年間を見て、もちろん私たちも反省はしますが、そこら辺はお願いをしておきたいのでよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、次に「通学」の項目に入りたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>それでは通学の件で、よろしくお願いします。</p> <p>まず通学に入る前に、この田原中学校に統合という話を初めて知ったとき、個人的には、これまでの長い歴史の中で、野田中学校に行かずに田原中学校に行った方も数々いる中で、子供たちの可能性が広がる意味で、子供たちにとっては必ずプラスになるし、先ほど冒頭で教育長が言ってくれました、野田中学校の子供たちが田原中学校に新しい風を引き込むといった感じで、家でも子供と話をしております。</p> <p>これまで 2 回、意見交換会をしてきたわけですが、保護者の意見としまして、通学に関しましてはスクールバスを要望する意見が多かったです。昨年話し合いの席には出ていませんでしたので状況はわかりませんが、通学の手段として考えられるものは、徒歩、自転車、スクールバス、あと公共交通機関の四つが考えられると思います。</p> <p>自転車で行ける子供に関しては、自転車で行けばいいのではないかなという気が個人的にはします。ただ、野田校区は範囲が広く、特に入ったばかりの女の子だったり、体に障害があったり、そういった弱い立場の子供を考えますと、スクールバスを出していただきたいという思いが個人的には強いです。</p> <p>現在、豊橋鉄道の路線バスが 259 号線を走っていますが、田原中学校の朝練に間に合うような時間に、実際、きょうの朝バスに乗ってきました。朝 6 時 50 分に野田のバス停から乗りセントファールの前、萱町のバス停まで行きます。萱町から徒歩で、は</p>

	<p>なとき通りを北上し、中部小学校を左手に見ながら田原中学校まで向かいました。きょうは高校生の朝の授業がなかったせいだ席はいっぱいでしたが、バスでの所要時間は、実際、立って約20分かかり、そこから徒歩で約20分。野田のバス停から、約40分かかり田原中学校まで到達することができました。</p> <p>路線バスを使う場合、特に高校生、社会人の方と一緒にバスに乗るわけです。特に旧渥美町方面からは年々渥美農業高校、成章高校、あと豊橋方面、例えば時習館、豊橋南高校など、渥美線を利用して通学する方が、徐々にこれからもふえてくるのではないかと考えております。そういう中で、野田のバス停で野田小学校を出たばかりの小さな子供たちが、特にバスの通路までたどり着けずに、ステップで大きな荷物を二つ抱えて乗る姿を想像し、時にはバスが、実際に私も経験がありますが、通過されることもあります。そういったことを考えますと、登校、下校で路線バスに乗ることがストレスになるのではないかと考えます。子供を持つ親としては、子供たちの安全・安心を第一に常に考えたいと思っております。</p> <p>また、仮に路線バスを使用する通学の方向性を考えたときに、5年後、10年後、この野田の地に今の若い世代の子供たちが家を建てて、子供を育てていこうという方が本当に激減していくのではないかと。そういった学校だけでなく、この地域の将来像を考えたときに、スクールバスならまだ可能性はあるかもしれないが、路線バスでの通学を考えますと、個人的には、最初に地域、特に消防団が機能しなくなり、今、野田校区には13地区ありますが、小さな地域の運営もこれから困難になっていくのではないかと考えています。</p> <p>ですから、この通学の決定が子供たちだけでなく、これからの野田校区全体に影響を及ぼすのではないかとという危惧を持っております。野田の朝のバス停でバスを見ていただくか、実際に乗っていただければ非常にわかりますが、大きな荷物を二つ両手に抱えた中学生が通学で乗るバスとしては、何とか市でスクールバスを検討してほしいと思います。</p>
委員長	一つの意見ということですが、これに対するコメントはどうしますか。
事務局	一つ、いいですか。今のご意見の中で、路線バスとスクールバスの違いによって、地域の将来像に影響するとの意味合いがよくわかりません。
委員	<p>仮に通学手段が、自転車で行ける子は自転車でいいと思いますが、どうしても自転車通学が困難という方は路線バスで、例えばスクールバスとの違いですが、路線バスを使ってストレスが子供たちに発生すると同時に、子供たちがストレスを持つということは、まず家庭に、特にお父さん、お母さんに、結局その負担がいきます。これまで保育園は、仮に外で子供たちを通わせていても、小学校から野田校区に戻ってくる野田の子が結構います。将来、路線バスで通学にストレスを持った子供たちが今度親になったときに、野田で子供を育てて中学校に同じ路線バスで通学することを考えますと、今度は実際、野田に住んでくれるかなといった危惧を私は持っております。</p> <p>いろいろなところでマイナスの波及的な効果が出るのではないかなという気がしております。</p>

委員	<p>私は、野田のオブザーバーで、市の公共交通を担当しています。お子さんたちが通学するときの通学環境、先ほど言われたようなバスに乗ったときにストレスを感じるという話と、その後の地域づくりの話は切り離して考えていただいたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>公共交通は子供の通学だけにあるわけではなくて、通学にも使えるし、高齢の方がお買い物や病院に行くときにも使えるということで、そういう意味で整備していかなければいけないものと。</p> <p>6月20日に市で公共交通を考える専門の会議がありました。その中で決まったことを中心に皆さんで意見交換できるような題材を、私からご報告させていただきたいと思っています。</p> <p>渥美線のような電車、バス、タクシー、スクールバスも全て公共交通の分野に入ります。やり方によっては、法律的な制限のかからない方法もありますが、全て道路運送法など、いろいろな制約の中で運行していかなければいけないルールがあります。交通機関はまず安全第一です。いろいろなところで高速バスの事故が起き、道路上の安全を守って効率的に人を運ぶための統一したルールをつくりなさいというのがあります。それを軸に、あとは経費。赤字だとバス会社もやっていけない。バス会社が撤退すると、結局、皆さんはタクシーで行くか、誰かに送ってもらうしかなくなるから、それを守っていかなければいけないということをうまく筋立てて、その地域ごとにネットワークをつくる会議です。</p> <p>基本は、まず野田地域の路線で言えば渥美線と伊良湖本線、支線を中心に、それが幹線として軸になります。地域の幹線に対しては赤字でも国や県が補てんをしています。それを補うものに、ぐるりんバスがあります。ただ、ぐるりんバスの路線は合併前のままの走らせ方をしていて、渥美方面から来た方々が野田校区の馬草、仁崎でぐるりんバスに乗ると、ぐるりんバスは100円で、幹線の路線バスは400円前後の運賃となると、幹線道路の路線と競合し国は支援できない、早く整理してくださいと課題としても言われて、それを直す方向で進めています。</p> <p>幹線でも、ぐるりんバスでも乗れない地域を市の運営する、例えば福祉バス、スクールバスがカバーする形にしなければ全体としての整合性がとれないことを会議の中で整理しました。基本的には幹線、具体的に言えば伊良湖本線で乗れなければ、次は、地域によって違いますが、ぐるりんバスのような形で補う。ただ、ぐるりんバスにしても、今、ご承知のように車両も大きいものでも47人乗りです。それに乗れなければ、今度はそれぞれの地域に、福祉なら福祉、学校なら学校の政策で乗り物を走らせるという形の順番になっていきます。その乗れなければという範囲が、全員まとまって乗れなければいけないのか、伊良湖本線の沿線は乗れるものに順番に乗って、それでカバーできないものを最後に乗っていくようにするのか、地域事情を踏まえて、そのための手順を整理していかなければいけないと思います。</p> <p>きょうの朝、バスに乗っていただいてありがとうございます。私も先日、野田へ来るのに、高校生の試験期間の混雑状況を知るためにバスに乗ってきました。おっしゃ</p>
----	--

	<p>るとおり、特に豊鉄バスの方が言うには、都会の子たちは隣に荷物を置いて二人がけの席に一人で座っていたら座っていくそうです。名古屋の地下鉄などでも、荷物を座席に置いていても人が来たら荷物をどかさず交通マナーができていますが、田原地域の方は座っている人は荷物をどかさないし、座席に座ろうとせずに立っていくというのが実態です。ただ、それがそれでいいのかというのは一つあります。</p> <p>それと今、朝乗っていただいたバスは、野田のバス停で言えば6時52分のバスだと思いますが、もう1台走っていましたよね。朝は6時五十何分と、そこから3本は2車両走らせています。私も、朝、江比間のバス停で待っていると2車両来て、前のバスは乗せていってくれなかった。よく見たら、それは女の子ばかり乗っているバスで、私は後から来たバスに乗りました。</p> <p>そういう中でも一時人が大勢乗っている状況はあります。それと学校のお休みがわかっているときは、やめているのかもしれないですし、通常の時刻表には2車両と書いてないですが、朝の3便は2車両で三河田原駅方面に向かっていきますので、路線バスの状況はそういう状況です。</p>
事務局	豊鉄バスと教育委員会でも少し話をしていますので状況をお知らせします。
事務局	<p>先日、豊鉄バスに行ってきました。田原市の学校再編の現状と、野田の生徒数は80人ぐらいとの説明をしました。路線バスは、朝方7時20分とか7時50分ぐらいと、もう一つ次の時間帯は2台で運行しているという路線バスの状況を聞いてきました。実際、乗っていただいた方もいらっしゃいますが、豊鉄バスの調査した乗車率では、大体40%、野田を通過時点は60%とか50%の乗車率で、そこからそんなに変わらなくて田原市役所まで来ると一気に6%、10%台になって、この市役所回りでおりの方が多という状況を聞きました。豊鉄バスでは立席も含めてバスは60人乗りと言っていました。</p> <p>そういう状況の中で、2台であれば、まだ20人ぐらいずつ乗れるとして40人ぐらいは乗れる状況だと思いますが、例えば路線バスが今から田原中学校に行く状況があると、豊鉄バスとしてどういうことをやってもらえるのかという話をしてきました。会社の中で、今から話していくことなので、どういう状況になるかはまだ決まっていません。</p>
事務局	我々としても、今、PTAの方が話したこと、皆さん方の要望を踏まえて、総合的にこれから要望を聞きながら最終的には判断していきたいと思っています。
委員	ここには書いてないですが、やり方によっては、ぐるりんバスが一つの手段として考えられると思うが、行政的な部分で学校とは切り離れたものと考えられるのですか。
事務局	使用できるものなら使用したいと思っています。
委員	そういう考え方があれば、皆さんの参考になると思いますので、ぐるりんバスはどのような状況なのですか。
委員	ぐるりんバスの説明の前に一つだけお願いします。前回、PTAの方が、雨天が特に心配だということについても、私どもは、今、各高校に通学している人のバス利用

を進めようとしています。先日、福江高校の校長先生と福江高校まで通っている子どもと一緒に話をしました。話を聞くと、普通は雨が降ると乗る人がふえるような気がするが、伊良湖本線は、朝方の高校通学時は逆に減ると。なぜかという、バス停が高校まで直に行っていないのが理由です。そこから15分から20分かかってしまうので、みんな親が送ってくれるからと。

ただ、1カ所だけ路線バスの乗車率がふえる高校がある。それは、渥美農高だけは三河田原駅まで電車で来た子が自転車で通学しているので、その子たちはバスを使ってくれるということが主な傾向だそうです。

我々は、それを何とか通年で、雨が降ったらやめるではなくて乗ってもらえるように、バス会社に、1年間定期を続けて買ったら割引率をさらに上げるとか交渉をしています。先回、雨のときのことを心配されていたのですが、どちらかという親が直接送ってしまう割合が高く、渥美方面はふえますが、野田地域から田原駅前方面はどちらかという減るということだそうです。

次に、ぐるりんバスですが、基本的には本線、支線とが渥美半島の基幹路線ということで認められています。その基幹路線と競合する路線をつくると、基幹路線に対して影響が出るからできないということで、これは西部線だけではないですが、ほかの地域もそうですが、路線が走っているところに重複して走っている部分はこれから走れない形になります。野田の地域の中で幹線である伊良湖本線と接続して、そこから利用してもらおうと。そのための利用促進策を考える形になりますので、野田地域から直接、田原の市街地までぐるりんバスを乗るルートにはなりません。

どのようなルートにしていくかにつきましては、野田もそうですが、これから各校区のコミュニティに相談していきます。具体的には今の路線は来年6月末までは運行契約が結んでありますので、そこまでは継続しますが、恐らく、ダイヤの切りかえが大体10月ですので、来年の秋ぐらいまでには方向性を整理して路線の変更になっていくということで、ぐるりんバスが使えることになれば、例えば山ノ神の子たちが野田まで出て来るといような形の路線はセットできると思います。

ぐるりんバスは、ご承知の方もいるかもしれませんが、全体で1億1,000万円ぐらいの運営経費がかかっている、そのうち運行収入が1,000万円強。9割近くは乗らない人の税金で支えているということです。これが余りにも路線バスとの格差がひどすぎるといということで、一昨年、全世帯のアンケートをとったことを踏まえて、来年、1乗車が200円以上という形に見直しになっております。こういう傾向は、いろいろなところであります。ただ乗られている方の意見も、そのぐらいでいいのではないかというお答えが大半を占めていたので、我々はそういうことに踏み切りたいと思っています。路線の設定の仕方は、これから各校区とお話をしていきますので、今後、野田の校区会長を通じて、野田の役員さんたちに説明して、先ほど言いましたようにぐるりんバスこそ生活交通としての部分、車を高齢になって運転していて危ないものから、ハンドルを手放してもらったときに移動ができる生活を保つために、ぐるりんバスを充実していきたいと思っていますので、相談しながらいい路線をつくりたいと思っ



	ています。
委員長	<p>おおむね 2 時間、会議を始めてから経過をしたわけです。通学の体制について、今からいろいろな意見を出し合って議論をしていく段階だと思います。</p> <p>そのほかの部分は、おおむね質問や意見を言って回答がもらえたのかなど。今後も保護者、あるいは P T A の人から聞きたいことも出てくるかもしれません。きょうはこの程度にとどめ、次回の 3 回目で、主に通学体制のことについて進めていきたいと考えています。</p> <p>先ほど言った積み残しの質問、意見を気づいたら出し、答えられる範囲で答えていただくように進めたいと思います。</p> <p>きょうはこの辺で時間の都合もあり、終わりとしてよろしいでしょうか。</p>
	(異議なし)
委員長	<p>おおむね予定していたことはできましたが、積み残しもあったように思います。</p> <p>平成 26 年度中に整理したいと思っているので、次回はおおむね 1 ヶ月ぐらい先に第 3 回目をやりたいと思います。次回の開催について、案としては 8 月 21 日ぐらいで皆さんのご都合はどうでしょうか。</p>
	(異議なし)
委員長	<p>では、次回の開催は 8 月 21 日 (木) 午後 7 時 30 分から、場所は野田市民館でお願いしたいと思います。</p> <p>長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>本日はこの程度にして散会といたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>